

る医療提供体制。

今回の感染拡大防止のための取組は政府、地方公共団体、医療関係者、専門家、事業者を含む国民が一丸となっていくものであることを踏まえ、地域の実情を踏まえつつ、迅速かつ適切に感染拡大防止のための措置を講ずることが必要である。

新型コロナウイルス感染症については、下記のような特徴がある。

- ・ 一般的な状況における感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染であるが、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされている。また、発症前2日の者や無症候の者からの感染の可能性も指摘されている。一方、人と人の距離をとること（Social distancing: 社会的距離）により、大幅に感染リスクが下がるとされている。
- ・ 集団感染が生じた場の共通点を踏まえると、特に①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人々が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（以下「三つの密」という。）のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられる。また、これ以外の場であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うことにはリスクが存在すると考えられる。激しい呼気や大きな声を伴う運動についても感染リスクがある可能性が指摘されている。
- ・ これまで、繁華街の接待を伴う飲食店、ライブハウス、スポーツジムにおいて感染者が確認されてきたが、現在では医療機関及び福祉施設等での集団感染が増加している状況であり、限定的に日常生活の中での感染のリスクが生じてきているものの、広く市中で感染が拡大しているわけではないと考えられる。
- ・ 世界保健機関（World Health Organization: WHO）によると、現時

(参考) 国が示している妊婦健診の実施基準

○ 母子保健課長通知※において、公費負担にあたって望ましい健診回数・実施時期、各回実施する基本的な妊婦健康診査の項目及びそれ以外の各種の医学的検査の標準的な検査項目を例示している。

I. 妊婦が受診することが望ましい健診回数

- ◆ 妊娠初期より妊娠23週(第6月末)まで : 4週間に1回
- ◆ 妊娠24週(第7月)より妊娠35週(第9月末)まで : 2週間に1回
- ◆ 妊娠36週(第10月)以降分娩まで : 1週間に1回



左記の基準に沿って受診した場合の受診回数は、14回程度。

II. 検査項目

- 各回実施する基本的な妊婦健康診査の項目
 - ①健康状態の把握(妊娠月週数に応じた問診、診査等)
 - ②検査計測
 - ③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に、必要に応じた医学的検査
- 上記以外の各種医学的検査

① 血液検査	妊婦初期に1回(血液型(ABO血液型・Rh血液型、不規則抗体)、血算、血糖、B型肝炎抗原、C型肝炎抗体、HIV抗体、梅毒血清反応、風疹ウイルス抗体)
	妊婦24週から35週までの間に1回(血算、血糖)
	妊婦36週以降に1回(血算)
② 子宮頸がん検診(細胞診)	妊婦30週頃までに(HTLV-1抗体検査)
	妊婦初期に1回
③ 超音波検査	妊婦23週までの間に2回
	妊婦24週から35週までの間に1回
	妊婦36週以降に1回実施
④ B群溶血性レンサ球菌(GBS)	妊婦24週から35週までの間に1回
⑤ 性器クラミジア	妊婦30週頃までに1回

※「妊婦健康診査の実施について」(平成21年2月27日付け雇母発第0227001号 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知)。
本通知で示している基準相当分は、地方交付税措置が講じられている。

事 務 連 絡
令和 2 年 5 月 4 日

都道府県
各 保健所設置市 衛生主管部（局） 御中
特 別 区

都道府県
各 指定都市 介護保険担当主管部（局）御中
中 核 市

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省老健局老人保健課

介護老人保健施設等における感染拡大防止のための留意点について

社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組については、「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その2）」（令和2年4月7日付厚生労働省健康局結核感染症課ほか連名事務連絡）等においてお示ししているところです。

これらも踏まえ、介護老人保健施設等においては、既に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組を進めて頂いているところですが、今般、介護老人保健施設及び介護医療院（以下「介護老人保健施設等」という。）における感染拡大防止のための留意事項について下記のとおり再度整理しましたので、ご了知いただくとともに、管内の施設に対して周知をお願いします。

なお、指定都市・中核市におかれては、都道府県と連携して対応いただくようお願いいたします。

-
- ⑤ 入院調整中の感染者等への対応
- 入所者に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、高齢者は原則入院することとなること。
 - ただし、地域の発生及び病床等の状況によっては、入院調整までの一時的な期間について、都道府県の指示により、介護老人保健施設等で入所継続を行う場合があり得ること。
 - 施設内で一時的に入所継続を行う場合には、感染の拡大を防止するため、保健所の指示に従って対応することとし、「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点（その2）」における、別紙「社会福祉施設等（入所施設・居住系サービス）における感染防止に向けた対応について」の2.（5）②を参考にしつつ、特に、以下のような点に

介護現場における新型コロナウイルス感染の現状

全国の老健施設の入所者等で新型コロナウイルス感染の陽性者が複数確認されている。その陽性者の医学的管理を含めたケアを施設内で継続せざるを得ない事例も発生している。

【介護現場の現状】

- ・地域でのクラスター発生により、病床が見つからず、保健所等から老健施設には医師がいるので、そのまま入所を継続して陽性者の対応をするように言われた。
- ・施設では、陽性者を個室で隔離したり、10数人の陽性者を集めて、他の入所者と居住空間や導線を分けて介護をしている。
- ・認知症の要介護高齢者で徘徊される方を、なかなか止められない。
- ・医療職ではない介護職が不慣れな個人防護服（PPE）をつけて、介護をせざるを得ない状況。（その防護服等も現場では不足している）
- ・新型コロナウイルス感染による肺炎を治療する医療設備は施設には整っていない。
- ・清掃会社からも撤退され、只でさえ人手不足な現場で、さらに施設内の掃除やクリーニング等の業務をしなければならず、現場の負担は増している。
- ・濃厚接触者になりPCR検査で陰性でも自宅待機を余儀なくされた職員や職員が家族（高齢者やお子様がいる）と同居している場合、感染拡大の不安から出勤ができなくなったり、家庭内でも自主的に隔離した生活を送っている職員もいる。
（欠勤すると給料が減り生活が成り立たない）
- ・職員が出勤できないことにより、現場ではさらに少ない人員で、陽性者とそうでない利用者を分けて介護しなくてはならない。
（食事の配膳に追われ1日が終わる感じである。夜勤者もいない。週2回の入浴もできない）
- ・全国から人的な応援に入ることもできない。（感染拡大のリスクから）

1

要望書の提出

厚生労働省の通知では

「高齢者や基礎疾患を有する者等である場合には**原則入院**すること」となっている

- ・ 4/3付 事務連絡「新型コロナウイルス感染症の軽度者等に係る宿泊療養及び自宅療養の対象並びに自治体における対応に向けた準備について」等の周知について
- ・ 4/7付 事務連絡「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その2）」

老健施設の入所者は、
感染すると重症化する恐れがある要介護高齢者であり、更に多床室や同じ空間で活動することが多く、集団感染リスクが高い



感染が判明した際には、優先的かつ速やかに病院へ入院できるように

全老健ではこのことを徹底していただくため、

・加藤厚生労働大臣あての要望書を提出(4/21)

永寿総合病院：新型コロナウイルス感染症 (2020年3月20日～5月9日の判明例)

患者（当院職員以外）
(上記期間に当院で検査を行った患者数)

	検査人数 (人)	陽性者数 (人)
全患者	466	131 (±0)

全陽性患者
年齢：中央値 72 (24~101) 歳
性別：女性41人・男性90人

陽性患者内訳

入院患者	109 (±0)
その他 ※	22
計	131

診療科別：血液内科48人・循環器内科13人
呼吸器内科9人・内科8人その他31人

※ 退院後に発症し他院に入院・患者家族など

陽性入院患者の転帰

死亡	42 (+4)	
転院	13	
退院	13 (+2)	2回陰性確認 33 (+7)
入院中	41 (-6)	現在も陽性の入院患者 21 (-11)
計	109	

死亡患者
年齢：中央値 72 (50~92) 歳
性別：女性17人・男性25人

診療科別：血液内科22人・呼吸器内科6人
その他11人

職員（常勤・非常勤・委託業者含む）

	検査人数 (人)	陽性者数 (人)	2回陰性確認
全職員	1019	83 (+1)	72 (+9)

職員内訳

	検査人数 (人)	陽性者数 (人)
医師	165	8
看護師 看護助手	415	60 (+1)
その他 ※	439	15
計	1019	83

※ 事務員・技師・委託業者など

医師内訳

	検査人数 (人)	陽性者数 (人)
常勤医師	105	8
非常勤医師 (慶應以外)	60	0

出所：公益財団法人ライフ・エクステンション研究所
附属永寿総合病院HPより